

R I 第 2820 地区

# 水海道ロータリークラブ



CELEBRATE  
R O T A R Y

100 Years

2004-05 年度 国際ロータリー会長  
グレン E. エステス・シニア

NO. 2 0 0 3

例会 2004 年 8 月 25 日(水)

鈴木・大串年度テーマ

『原点に戻ろう！』

そしてさらなる飛躍を！！』

8 月の会長ポイントメッセージ  
会員増強の推進

8 月は会員増強拡大月間です

## 本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA 報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

オーストラリア帰国学生挨拶

外部卓話

次回 9 月 1 日(水) 予告

ロータリー財団、国際奉仕、クラブ奉仕

研究会報告



新入会員の関根 淳会員

2004 ~ 2005 年度

会 長 鈴 木

豊 幹 事 大 串 卓

例 会 場 ・ 例 会 日

事 務 所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

常陽銀行水海道支店内 3F

釜久ビル 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30

0297-22-1251

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://kinuyou.com/rc/>

**本例会でのおもな事項**

\* 入会式

\* 会員増強拡大月間卓話

\* 会長挨拶

松坂興一委員長

**ビジター紹介**

米山奨学生 蔡 亦竹さん

新入会員 関根 淳会員

**新入会員 関根 淳様より挨拶**



只今ご紹介を頂きました、常陽銀行水海道支店の関根です。歴史と伝統のあるクラブと前任者の大貫より聞いています。その仲間に入れていただくという事で、大変光栄に思っている次第です。支店長の任期で期間が短い分、精一杯皆様と御親交をさせていただくと共に、奉仕の道に進みたいと思いません。宜しくお願い致します。

**諸 報 告**

**国際奉仕委員会** (染谷秀雄委員長)

8月6日 3名の交換学生が成田よりオーストラリアに出発しました。

**ゴルフ同好会** (青木正弘会員)

水海道ゴルフクラブが40周年を迎えます。9月28日、29日、30日の3日間、一人1万円でプレーさせていただきます。水海道RCでは、9月28日(火)コンペを開催いたします。

**米山奨学会報告** (小島富雄カウンセラー)



皆様今日は、先週の土曜日8月7日、クラブ米山奨学委員長及びカウンセラー合同セミナーが開催されまして、五木田委員長代理カウンセラーとして参加いたしました。場所は、(財)茨城県開発公社 3階大会議室にて、9時30分登録受付、10時開会、点鐘で始まり内容としましては、

1. 地区委員紹介、ご挨拶

2. 米山梅吉伝……創意と奉仕の一生。米山理事であります佐藤二郎PGの講和が1時間ありまして、浪花節調で大変楽しく拝聴いたしました。

3. ローター米山奨学会の現状について

4. 第2820地区の米山奨学会の現状について

5. 第2820地区目標とお願い……普通寄付、特別寄付、米山月間と奨学生の卓話訪問

6. 米山奨学生卓話4名でした。なかでも韓国の女性筑波大学奨学生で、納豆が食べられなくて試行錯誤しながらフライパンで炒めて食べる事が出来たという、食事についても大変苦労があった話でした。

7. 質疑応答、総評、点鐘、閉会 終了いたしました。

自発的に特別希望参加者3名が出席しまして大変米山に対する関心が高まっていると感じました。米山梅吉記念館の見学履歴そして米山奨学制度のあり方等を勉強し、新しい会員の増強PRにお役に立てれば良いと思っています。情報委員会でもPRに取り上げてみたいと思っています。以上クラブ米山委員会とR情報を兼ねまして報告終了いたします。

## 幹事報告 (大串 卓幹事)

週報受理 石岡 87RC、結城RC

例会変更通知受理 江戸崎RC 8月12日(木)休会

8月19日(木) 8月20日(金)午前9時より 安中コミュニティセンター

## 会長挨拶 (鈴木 豊会長)

皆さん、こんにちは。米山奨学生の蔡さんようこそお見えになりました。8月13日からお盆に入りますが、先祖様の前で四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情深めるか 4.みんなのためになるかどうか を3度唱えて下さい。先祖様は見ております。心に誓って進んでください。10月6日は、ガバナー公式訪問になります。100%実質例会にしたいと思います。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。私のスローガン「原点に戻ろう」に基き、シリーズ的にロータリーの考え方について話を進めて行きたいと思いますが、今年度の小島R情報委員長さんは非常に燃えておりますが、今日は一言述べさせていただきます。石塚会員が九州宮崎北RCのHPを水海道RCのHPに紹介してくれました。その中に「ロータリークラブのあらまし」というページがあります。その中の幾つかを取り上げてみます。

イ) **ロータリークラブでの親睦と奉仕**……ロータリークラブは多くの友人を作り、会員相互の親睦を第一義とした団体です。異業種交流の場でもあります。心の許せる友と語り合い、学びあい、信頼を深め、職業に有益な情報を交換するのです。

・ 奉仕のめばえ……「信号を渡る人がいたならば、杖や物を用意するのは他の慈善団体です。ロータリアンはそっとそばに寄って静かに手を差し伸べ、共に体温がわかちあえるよう、一緒に信号を渡してあげる」のです。

ロ) **ライオンズクラブとのちがひ**……ロータリークラブには全員がまとまって行う奉仕活動も沢山ありますが、基本的には「会員一人一人が奉仕活動の単位」なのです。すなわち、「私は奉仕する(I Serve)」「自己の責任と判断において、自分の職業を通して、はたまた社会に、世界に奉仕しよう」……との考え方が基本となっています。 というようなHPが掲載されており勉強になります。I Serve が時代と共に変化してきている事は皆様もご承知の通りですが、基本的には、I Serve であり、職業奉仕がロータリーの金看板といわれるゆえんでもあります。今後も少しずつ小島委員長を中心に勉強を重ねていきます。宜しくお願いします。

### 理事会の報告

#### 1.100周年記念事業について

秋田社会奉仕委員長を中心に企画委員会の設立。

#### 2.WCSについて

ネパール、タイを勧めております。

#### 3.新会員の件

2名の推薦がありました。

#### 4.地区委員推薦の件

地区より要望があり、瀬戸隆海会員を推薦しました。

以上が理事会で承認されました。

## 会員増強拡大月間卓話 (松坂興一委員長)

今年度のRIテーマは、CELEBRATE ROTARY「ロータリーを祝おう」であります。これは、御承知の通り今から百年前シカゴにおいて、ポール・ハリスと三人の友人の信頼によって結ばれ、思い遣りと助け合いの精神によって相互発展するための会合が開かれ、今日ロータリークラブ会員は全世界166カ国、122万人



を数える大きな組織になっております。こうした世界中のロータリークラブの連合体が国際ロータリーであります。一世紀を経過した事でお祝いを込めて CELEBRATE ROTARY というわけでありませぬ。

当地区永井ガバナーも RI テーマの真意は難しくわからないと申しており、自分なりに解釈すれば、ロータリーが一世紀に亘り奉仕をするということで、成長拡大をとげ、ロータリアンの心温まる親睦を祝おうと、また過去の

成功の自己満足ではなく、現在における困難への新たな危機感をもって原点に立ち返り第一歩の出発点に立つこと、この精神を祝おうと言うことであると申しております。その一番に挙げられる問題点こそが 増強拡大に外なりません。8 月は会員増強月間ということであります。私共ロータリーファミリー会員増強委員会は、日頃から会員の皆さんのご協力のもと活動して参るわけですが、強調月間に際しまして特に帰属するところの第 2820 地区における現況について申し上げ、新たな認識のもとに皆さんと共に増強活動に邁進したいと思うところであります。創立 100 年目、ロータリー活動における増強・拡大という問題は、正に宿命的課題とも申せましょう。素直に申せば増強・拡大はダイレクトにロータリーの活動資金に結びつくわけであり、これなくしてはロータリーの活動は停滞してしまう訳で、何としてでも増強・拡大を求めざるを得ません。かつて、奉仕活動を目指す人々の集合体がロータリークラブであるといわれ、金科玉条の如くに思っておったものが、活動の拡大に伴い、資金の増大を招き、資金を集めるために会員増強・拡大に留まることなく回転運動を続けて行くわけでありませぬ。組織の巨大化は、運営経費の膨大化につながり、およそ効率の良い組織運営は程遠いものとなっております。このように申してきますと、あたかもロータリー不要論の体をなしてまいりますが、本意はさにあらず、こうした現状に目をそむけず直視した上での活動こそロータリアンとして求められるものではないかと考えるわけでありませぬ。私共が求める新入会員は決して資金源であると考えのではなく、本来の目的であるロータリー綱領にあるわけで、かならずや地域にあってその事業あるいは専門的職務を通して貢献できるものと確信するところであります。2820 地区について見てみますと、最も新しい清水年度において 7 月 1 日現在 2,370 人、58 クラブであります。過去 10 年間に遡ってみますと、木村年度 (1995 ~ 96) は 2,972 人 55 クラブから始まり、佐藤年度、西村年度と 2,900 人台を確保して、特に西村年度は最終的に 2,982 人を記録しております。西村年度と清水年度との格差は何と 612 人にもなるわけでありませぬ。6 年間に 612 人、年間 100 人以上減っておる状況で恐ろしい現象とも申せましょうか。西村年度からすれば 20.5% の減ということでありませぬ。当クラブも当初 34 人でスタートして、41 年経過したわけですが、スタートから 14 年度 (76 ~ 77) 飯塚文男会長年度に 50 名に到達以来、概ね 50 台後半から 60 台前半にも達した事もあり比較的安定した会員を保ってきておりますが、ここへ来て瞬間的に 50 台を割ってしまった事があり心配されるところであります。減少の原因について考えて見ますと、内因、外因と考える事が出来ると思ひます。内因について申せば、創立以来 40 年を超えるクラブとして、会員の老齢化も一因としてありますし、また比較的安定した会員の保持ということ、活動がマンネリ化していることも考えられるところでもありますが、今後若い世代への執行部の交代が新しい環境を作り出すきっかけになればと期待するところであります。外因で申せば、やはりバブルの崩壊ということが一番に上げられると思ひますが、この現象をどう受けとめたのが問題と思ひます。RI は、増強に走る余り様々な規定緩和に結びつけ規定を緩めれば入会者も多く、退会者も少なくなると考えたのではないのでしょうか。地域にあってステータスと考え自らを律することに努力してきた会員にとって、誇りえるものではなくなりつつあるのではないのでしょうか。いつの間にか、奉仕活動は専門化してしまい、誰もが手を出し難い状況にあるように思われます。これからの世代を担う若い人達の入会を望むなら、今一度ロータリーの原点に立ち返ってみる事が大切と思ひます。先ず最初に熱き友情があり、友への慈愛に満ちた思い遣りを己の職業を通して社会への還元。奉仕する事により社会と連帯。このことを奉仕の理想として、地域に止めることなく世界の隅々にまで広しめる事こそがロータリーそのものであります。最近の

悪しき風潮は、サラリと捨ててロータリアンであることの素晴らしさを多くの人達にも知ってもらうべく、会員の増強に努めて行きたいと思えます。ご協力お願い致します。

## 出席報告 (角田雅宣委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク
50名	38名	12名	1名	8名

出席率 94.00%

## ニコニコボックス (青木正弘委員長)

- ・今回、伝統と歴史のある水海道ロータリークラブに入会させていただく事になりました。宜しくお願い致します。 関根会員
- ・8月6日交換学生3人オーストラリアに無事旅立ちました。染谷国際委員長、歴代国際委員長有難うございました。 鈴木(豊)会員
- ・ツウンバ学生見送り無事すみしました。元気に出発しました。 大串会員
- ・交換学生無事着いて何よりです。 石塚(克)会員
- ・8月7日米山カウンセラーセミナーに参加いたしました。 小島会員
- ・誕生祝頂きました。事情で休みが続いています。申し訳ありません。 笠原会員
- ・いよいよオリンピック 寝不足に注意！ 染谷(正)会員
- ・残暑お見舞申し上げます。 島田会員
- ・2000回例会欠席しました。 海老原会員
- ・3名の交換学生無事にオーストラリアに到着しました。 染谷(秀)会員
- ・沖縄県は宮古島に行ってきました。最高でした。 登坂会員
- ・特になし 横山会員
- ・例会欠席しました。 熊谷・染谷(昭) 各会員
- ・立秋過ぎても暑い日が続きます。体を大切に！！ 青木(正)会員

入金計 ￥37,000

累計 ￥403,000

会報委員会 委員長 斎藤広巳 副委員長 大塚令昌 委員 笠原 修

## R I ニ ュ ー ス

### 親愛なる同僚ロータリアンの皆さん:

奉仕の新世紀に入るに当たり、ロータリアンであるということにどんな意味があるかについて、思いを巡らせてみたいと思えます。私たちはそれぞれが社会への貢献だとか、ロータリー財団が行う人道的、教育的活動の支援、援助を必要とする特定の個人や団体に手を差し伸べるためなど、いろいろな理由でロータリークラブに入っています。私にとって、ロータリーとは、真心で奉仕することを意味します。

### 100年間生き延びた組織

100年間という試金石になかった組織はほとんどありません。人道的な取り組みへの情熱と意欲がロータリーを他の組織とは異なったものにしたので、生き残ることができたのだと信じています。しばしばロータリアンたちは、時間的な面でも財政的な貢献においても大きな自己犠牲を払って、人々を助けます。これら無欲の奉仕活動がロータリアンであることの定義づけでもあるのです。

私たちの100周年は、ロータリーを人々に認識してもらい、新しい会員を迎え入れる理想的なときでもあります。8月は会員増強および拡大月間であり、友人や仕事仲間をロータリーに紹介するのにいい機会です。ロータリークラブの会員として得られる利益を考えてみてください。ある意味で、あなたは家族としてロータリー家族として受け入れられているのです。多くの友達をつくり、事実上、世界各地とのつながりをもちます。

## 5人の兄がロータリアン

私は文字通りロータリー家族の中で育ちました。5人の兄たちはロータリアンで、3人は後にクラブ会長になりました。私が彼らの足跡をたどるのは、当たり前のように思えるかもしれませんが、しかし、前途にどんな道が待ち受けているのかについては、ほとんどわかっていませんでした。

私はロータリーで出世しようとか、そのうちにガバナーになってやろうなどという野心はもっていませんでしたから、RI会長になるなどということは論外でした。このことは、ロータリーが、どんなロータリークラブのロータリアンをも予想外の進路につかせ、大いなる喜びと満足感をもたらすようにリードできることを示しています。

私はアメリカ合衆国フロリダ州のジャクソンビルRCに33歳で入会しました。その地域ではまだ新米の若い実業家でしたが、クラブは、私を計り知れないほどの温かさで助けてくれました。ロータリーを通じて、私は地域社会や海外に生涯の友をつくることができました。

## あなたをロータリーに招いたのは?

今月の『The Rotarian』(『ロータリーの友』)は、長期在籍会員が新しいプロジェクトや取り組みを引き受けるのと同じように、ロータリーの新入会員の教育に捧げられます。

2005年6月の100周年の年度の終わりまでには、会員数150万人にまで引き上げるという目標に到達できるような実質的成長をもたらす、私たちの会員増強計画開発プログラムの促進を願っています。それを成し遂げるため、私はそれぞれのクラブが実質で3パーセントの会員増強(1クラブ当たり最低2人の純増を含む)と一つの新クラブの設立を推奨します。

それとともに、私たちは、会員の退会防止にも注意を払わなければなりません。世界のある地域では入会后3年以内に、その約半数を失っています。ブラジルや日本、メキシコ、それにアメリカ合衆国では、さまざまな経済問題や社会状況によって会員の総数が低下しています。クラブや地区のロータリー家族委員会は、親睦活動や奉仕プロジェクトに携わる会員とともにクラブ会員をつなぎとめる努力の鍵となります。

私は、ロータリーにおける多様性の促進もまた重要であると信じています。私は、会員の皆さんに適性のある女性や若い人々、さまざまな人種や宗教的背景をもつ地域社会の人々を迎え入れることを推奨します。これらのグループは、いつでも入会できる状態にある会員候補者の貯蔵庫であり、私たちの組織に、新しいエネルギーを注入することになるでしょう。

今日、ちょっと時間をとって誰があなたをロータリークラブに招いたかを思い出してみてください。他の人々とともに奉仕活動の贈り物を分かち合うことで、ロータリーを祝おうではありませんか。ロータリー精神の普及によって、私たちの奉仕の第2世紀にもきっと偉業を成し遂げることができるでしょう。

Glenn E. Estess, Sr.

2004-05年度国際ロータリー会長

(RI指定記事 提供：ロータリーの友)

2004/8/1